

2008（平成20）年度第1回東海地区協議会研究会運営委員会議事録

日 時 : 2008年5月9日（金）13時～16時30分
場 所 : 同朋学園名古屋キャンパス D○プラザ閣蔵2階多目的会議室
出席者 : 加藤直美（愛知工業大学）、山田 稔（愛知淑徳大学）、
山本祐子（朝日大学）、岩本祥子（中部大学）、
井上映子（豊田工業大学）、紅露 剛（南山大学）、
國枝泰周、中澤章浩、角田久子（同朋学園大学部）
欠席者 : 三浦慶嗣（中京女子大学）

<敬称略>

（議題）

1. 第1回研究会について

日 程 6月24日(火)

会 場 同朋学園名古屋キャンパス D○プラザ閣蔵1階D○ホール

テーマ 「図書館サービスの新潮流：ニューサービスをさぐる」

- 内 容
- ・12時30分より受付開始。
 - ・13時より開会。開会挨拶、講師紹介等を行う。
 - ・次に講演2題を行う。

【講演】

①常世田良氏（元浦安市立図書館長、現日本図書館協会常務理事）

同朋学園大学部附属図書館が講演依頼を行う。

②専門図書館協会から講師を派遣。

南山大学名古屋図書館の紅露氏が講演依頼を行う。

- ・講演は1題につき1時間20～30分程度(途中休憩をはさむ)とする。
- ・講演後、質疑応答の時間を設ける。17時までに終了予定。
- ・演題は常世田氏および専門図書館協会からの講師に一任する。事前に参考文献等を教えていただき、参加者全員に事前情報として伝達しておく。
- ・各委員から、公共図書館・専門図書館からみた大学図書館、今後の連携・協力のあり方等についてお話いただくとよいのではという意見が出された。
- ・両名の講師に対して名古屋駅から会場までの交通案内もしくはタクシーチケットの事前送付などの措置を取る。また、講演終了後の意見交換会にご出席いただけるかどうかについて確認する。
- ・講師謝礼については同朋学園大学部附属図書館(会場校)が各運営委員と連絡・調整を行った上で決定する。

- ・今年度は第1～3回それぞれ異なったテーマで実施されるため、前年度のように3回通しで同じメンバーが参加する必要はなく、参加者が入れ替わることもありうるので、同じテーマでグループ討議を毎回行う必要もない。毎回異なった形態で実施してもよいということになる。

従って、第1回研究会では講演2題を拝聴し、参加者各自が新しい図書館サービスのあり方についてじっくりと考える機会とし、グループ討議は行わないこととする。

- ・意見交換会に移る前に20～30分の図書館見学の時間を設ける。

[事前アンケートについて]

- ・参加応募者全員に対して、事前に参加者アンケートを行う。
- ・事前アンケートの内容については、各運営委員からメールで同朋学園大学部附属図書館まで提案してもらう。

2. 第2回以降の研究会について

[第2回]

日 程 9月30日(火) 13～17時 (予定)

(会場大学の都合に合わせて変更する可能性もあるが、その場合は日程を前倒しして行う。)

- 会 場
- ・三重県内の3大学のいずれかで行う方向で交渉を進める。
 - ・四日市大学、三重中京大学、鈴鹿医療科学大学の3大学に依頼してみる。
 - ・万一、3大学とも断られた場合は南山大学瀬戸キャンパスで行う予定である。

テーマ 「魅力ある蔵書構築：いかに利用者を引き付けるか」

- 内 容
- ・事例発表を行う予定。
 - ・先進的な選書・収書システム(シラバスに基づく収集方針、蔵書計画等)に関する事例発表を行うため、各委員がメールで情報交換する。
 - ・詳細については次回の運営委員会で協議する。

[第3回]

日 程 10月29日(水) 13～17時 (予定)

会 場 名古屋学院大学

テーマ 「図書館評価と満足度：利用者の望むサービス像」

- 内 容
- ・詳細については次回の運営委員会で協議する。

3. 研究集会について

日 程 12月3日(水)

- ・事例発表の時間の長さ、応募者数によって、開始時間を調整する。

会 場 同朋学園名古屋キャンパス 成徳館J501教室

内 容 ・講演(1題)を行う。

- ・事例発表(複数題)を行う。次の①と②は確定。

①「新委員会」ワーキンググループ成果報告

②図書館サービス・システム委員会アンケート結果報告

- ・その他の事例発表については、前年度同様に7月下旬頃に募集文書を配布し、9月初旬頃に募集締め切りとする予定である。
- ・詳細については次回の運営委員会で協議する。

4. 次回運営委員会の開催日程について

日 程 6月24日(火)午前中

- ・ただし必要があれば、臨時に開催することになった。

会 場 同朋学園Dオプラザ蔵2階多目的会議室